

平成 26 年 3 月 20 日

平成 25 年度学位授与式告辞(抜粋)

学長 木元 幸一

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

また、ご家族保護者の皆様誠におめでとうございます。

本学に在学中の間、物心両面で何かと支えて頂き、一方ならぬご苦勞もおありであったと推察されます。心より御礼申し上げます。

それぞれつらいこともあったでしょうが、学業を続けられ、キャンパスライフを楽しまれた思い出のいっぱい詰まった学生生活であったと思います。皆さんはおそらくこれが最後の学生時代、幼稚園から続いた学校というものからはいよいよ離れてしまうことになるわけです。

ご卒業に際し、皆さんを送り出す側の代表として一言、お祝いを述べさせていただきます。

皆さんが 2 年生の時、2011 年 3 月東日本大震災が起こりました。そしてこの大震災が今までと違うのは、まさにその原子力発電所の損傷でした。勿論我が国日本ですから、平和利用のための発電所ですが、その被害は、環境被害・風評も含めると未だ果てしないものを感じます。受け取り方は様々と思いますが、津波による自然災害の部分は、少しずつ復興に向かっているのだと思います。今回卒業するみなさんの中にもボランティアとして行かれた方も多いと思いますが、特に、人間が生活として住むところがいつまでも仮設というのは辛いものがあると思います。自然を征服の対象とする欧米思想とは異なり、自然の恵みを母と例え慈しみ、自然との調和にあるワビ・サビを特徴とする日本文化を考えると、東日本の自然の復興と自律した生活の回復を心より祈りたいと思います。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は 2013 年日本の食を世界遺産として承認しました。その理由は「和食」の食文化が自然を尊重する日本人の心を表現したものであり、伝統的な社会慣習として世代を越えて受け継がれていると評価し、無形文化遺産に登録することを決められたのです。「食」分野では仏・地中海・メキシコ・トルコに次いで 5 件目ですが、その理由には日本文化の特徴が強く評価されています。自然を尊重する心に基づいた食慣習として 4 点を挙げています。

1. 多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本の国土は南北に長く、海、山、里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられています。北海道から沖縄に至る和食の多様性と、食材の持ち味を引き出す工夫や、食卓を美しくしつらえる表現方法が発達しています。皆さんの地域にも美味しい食べ物や料理・伝統的な物産がたくさんありますね。

2. 栄養バランスに優れた健康的な食生活

一汁三菜（1 種類の汁物と 3 種類の菜からなる日本料理の基本的な膳立て）を基本とする

日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスです。また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿、肥満防止に役立っています。日本の食文化の真髄はダシにあり、本物のダシを味わう事は教養であるとまで言っています。

3. 自然の美しさや季節の移ろいの表現

食事の場で、自然の美しさや四季の移ろいを表現することも特徴の一つです。季節の花や葉などで料理を飾り付けたり、季節に合った調度品や器を利用したりして、季節感を楽しんでいます。料理も盛り付けも器も美しさを求めます。今は、季節感なくきゅうりもトマトも1年中美味しく食べられることは大変ありがたいですが、やはり季節感のある食べ物が出てくると、旬のもつ美味しさに感動します。保育園幼稚園でも季節ごとに楽しい行事があり、食事が出ますね。

昨年上野の博物館で「京都」の特別展がありました。中でも感動的だったのは、龍安寺の四季の移ろいを大画面で再現したものでした。桜の春、色彩豊かな夏、紅葉の秋、雪の積もった冬と龍安寺の庭園が四季と共に見事に変化する姿に感動しました。

4. 年中行事との密接な関わり

日本の食文化は、正月などの年中行事と密接に関わって育まれてきました。自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。正月、節分、節句などは多くの行事には家族が集まります。子供が産まれると、お宮参りを始め、お食い初めがあったり、初節句、一升餅、七五三とかもあります。みんなで着飾り、お祝いをしてもらいます。楽しい時を過ごします。その時食べるものに意味があり、人生の教訓が込められています。行事に際し、それぞれに着飾り集うこととその時の食は、日本人の絆そのものです。保育園や幼稚園でも年中行事はたくさんあり、それにちなんだものをみんなで食べますね。

日本人の生活習慣とその精神、そして自然と調和した美意識が日本の食の世界文化遺産として評価されました。その前には、富士山が有形の文化遺産として登録されました。富士山は当初、世界自然遺産として登録を目指していましたが、ゴミの不法投棄などによる環境悪化や開発により本来の自然が保たれていないなどの理由で、文化遺産登録を目指す方針に転換したのです。対象は「富士山は人々に崇められ、信仰の対象にもなり日本人の精神にまで染み込んでいる。そして、日本における芸術・美術の源泉ともなっている。」という文化的価値を評価しました。日本人の精神と芸術の対象は良いですが、富士山という本来の自然が、環境破壊や開発などによって世界遺産に適合しないというのはそもそも文化国家として寂しい気がします。しかし、日本の文化に対する世界の評価は、先の食と共に極めて高いと言えます。

卒業される皆さんには、是非この日本人の絆と風土を大切にした生活そして自然との調和にある日本人の美意識を大切に日本文化というものを守って大事にしていきたいと思えます。

私は、この正面を通り附属中学校・高等学校の前を抜けたところで、16号館を望む位置

に立ったときテニスコートの前のそびえるケヤキの木が大好きです。そこに立ってケヤキと広がる空を望むとホッとして一日の疲れが消え、くじけそうな自分の夢も蘇ります。きっと皆さんもこのキャンパスのどこか、好きな場所、勇気をもらった大きな木、季節を感じる優しい佇まい、等々、どこかあったのだと思います。木というのは、高く伸びれば良いというだけのものではありません。上へ伸びる部分を適当な時に摘むことにより、横に大きく広がり、花もきれいに咲くのです。これからの皆さんも、例えて言うと、上へ上へと行くばかりでなく、どこかで横に広がり、また見事な花を咲かせることを心に誓ってこれからの人生を歩んで頂きたいと思います。皆さんこのキャンパスを忘れないでください。学園のキャンパスは、これからも皆さんを優しく見守り、励まし続けていきます。私たちはずっとみなさんを応援しています。

終わりに挑み私は、これから皆さんが、本学の建学の精神である「自主自律」の道を歩まれ、生活信条「愛情・勤勉・聡明」を实践されて活躍されることを心よりお祈りし、本日の学位記授与式を記念しての告辞とさせていただきます。